

令和3年度第2回大曲地域協議会会議録

令和3年11月11日

大曲地域協議会

令和3年度第2回大曲地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■部長あいさつ	2
■協議	
(1) 会議録署名委員の指名	4
(2) 地域課題協議について	4
■報告	
(1) 令和3年度地域枠予算の活用状況について	17
(2) 彩色千輪プロジェクトについて	17
■その他	17
■閉会	17
■署名	17

■日 時：令和3年11月11日（木）午後6時

■会 場：大仙市役所3階大会議室

■出席委員：9名

熊谷 公、根田 朋子、佐々木 浩、佐藤 純也、
須田 忠夫、生田目 マキ子、成田 麗子、松塚 孝治、
三浦 隆吾

■欠席委員：5名

鎌田 俊、後藤 仁美、佐藤 芳紀、柴田 裕子、
戸嶋 真紀子

■出席職員：5名

福原 勝人（企画部長） 山信田 恭弘（地域活動応援課長）
高山 知洋（地域活動応援課主幹） 遠藤 彩希（地域活動応援課副主幹）
佐藤 洋平（地域活動応援課主任）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 部長あいさつ
- 4 議 題
 - (1) 会議録署名委員の指名
 - (2) 地域課題協議について
- 5 説 明
 - (1) 令和3年度地域枠予算の活用状況について
 - (2) 彩色千輪プロジェクトについて
- 6 その他
- 7 閉 会

(午後 6時 開会)

○事務局(高山主幹)

本日はお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。

定刻になりましたので、ただ今から令和3年度第2回大曲地域協議会を始めさせていただきます。

はじめに、熊谷会長よりごあいさつをお願いします。

○熊谷公会長(以下、会長と表記)

皆様本日もお忙しい中また悪天候の中お集まりいただきましてありがとうございます。

前回というか8月コロナの流行ということで、開催できずに予定変更して本日まで延長をいたしました。本当に申し訳ありませんでした。

気づいてみればコロナの影響で何もできないまま、今年ももう11月になってしまいました。今月中にはもう天気予報に雪マークもついているということで本当に1年あつという間だなというふうに感じております。

コロナは落ち着いてきてはいるんですけども、まだまだ残ってる状態です。皆様、感染対策しっかりやりながら、徐々に街の経済が活気を取り戻してきてる状態でありますので、また普段通りの生活を送っていければと思います。本日も限られた時間ではありますし、いつもより若干メンバーが少ない人数でありますけれども、活発な議論できますように皆様にはお願いしたいと思います。

○事務局(高山主幹)

ありがとうございました。

続きまして、福原企画部長がご挨拶申し上げます。

○福原企画部長(以下、企画部長と表記)

皆様こんばんは。お忙しいところ、また雨の中お集まりいただきまして本当にありがとうございます。今会長さんからもお話ありました通り前回5月20日、これが第1回目でもう既に半年経過しております。

本日第2回目を迎えられて本当にほっとしているところであります。

ご案内の通り、第2回開催予定でありました8月18日は、まさに大仙市でもコロナの感染がピークを迎えておりました。その後9月に入りまして、市で一番大きい保育所でもクラスターが発生いたしました。大変心配したところでありましたけれども、どういうわけか、ずっと落ち着いていったということで、たまたまだったんだろうと感じております。したがって、海外を見てみますと、日本でいうと第6波になるわけですが、これはおそ

らく来てしまうのではないかと危惧している中で、今ワクチン接種もそろそろ対象者の9割は終えております。

依然として、11歳以下については対象外ということですので、学校なんかはまだまだ警戒を緩めるわけにはまいりませんが、この後3回目のワクチン接種を計画しております。そうしたことで、何とかこの第6波を抑えつつ過ごせればと感じているところであります。

1回目からもう既に6ヶ月も経っておりまして、前回どういってお話し合いがあったかということも少しずつ思い出しながら今日はやっていただければと思います。

また、市側の報告といたしまして、令和3年度の地域枠予算の活用状況ですとか、あと地域の魅力再発見事業ということで、各地域ごとに事業を取り組んでおりますが、今年度が最終年度ということで、来年度以降また新たな取り組みを行いたいと考えておりますので、それについてもご報告を申し上げたいと思います。

以上、簡単ではありますが、本日もよろしく願いいたします。

○事務局(高山主幹)

それでは、会議に入ります前に資料の確認をさせていただきます。

【資料の確認】

次第

委員名簿・配席図

資料No.1 令和3年度第1回グループ協議資料

資料No.2 グループ協議シート(A・B)

資料No.3 令和3年度地域枠予算活用事業一覧 ⇒ 差し替え当日配布

資料No.4 彩色千輪プロジェクト実施要領

はなびアムを拠点とした地域活性化 ⇒ 当日追加

地域の魅力再発見事業 ⇒ 当日追加

参考 令和3年度第1回地域協議会会議録抜粋

○事務局(高山主幹)

それでは、このあとの進行については、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、熊谷会長にお願いします。

○会長

ありがとうございます。

それでは会議を始めたいと思います。本日は後藤仁美委員、柴田裕子委員、鎌田俊委員、

戸嶋真紀子委員、佐藤芳紀委員から欠席の届け出がされておりました、出席委員は9名となっております。

委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、本日の会議が成立することをご報告いたします。

それでは次第4の会議録署名委員を指名いたします。本日の会議録署名委員は、佐藤純也委員と三浦隆吾委員にお願いいたします。続きまして議題の2に移ります。地域課題協議についてを議題といたします。

前は、具体的な対応策について、誰が実施するのか、またどのような効果があるのかという部分を協議いただきました。

本日はその内容の確認と、さらに詰める部分があれば詰めていただくとともに、地域協議会としてどのようにその団体に働きかけるか、またその時期をいつ行うかについて、二つのグループにわかれて協議していただきたいと思います。

①地域住民の地域活動への参加がAグループ、②はなび・アムと周辺の取り組みがBグループとなっております。

それではこれから協議に入ってくださいわけですが、事務局からまた説明の方お願いいたします。

○事務局(高山主幹)

【資料に基づき説明】

これまでのグループの議論をグループ協議シートのA・Bにそれぞれまとめて内容を確認した。本日は、地域協議会としての団体への働きかけ方やその時期をいつにするかを話し合い、それぞれのグループから発表いただき意見交換するという流れを確認した。

○会長

はい、ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明を踏まえまして、グループで協議をお願いしたいと思います。事務局から物品を配布させていただきますので、そちらを活用していただきながら進めていただきたいと思います。

再度になりますけれども今回のグループ協議では、具体的な対応策の追加、取り組み体制などの追加と協議会の今後の取り組み、どう働きかけるかなど、あと実現可能かなど、実践に向けて一歩踏み込んだところでの協議をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いたします。

今回もグループ内で進行役と報告していただく方を決めてから協議に入ってください。時間の方は30分ほど取りたいと思いますので、18時50分ぐらいまでを目安

に進めていただきたいと思います。それではよろしく申し上げます。

【グループ協議】

○会長

予定の50分になりましたけれども、皆さんいかがでしょうか。まだもう少しですよ。では10分延長で19時まで時間延長しますので、それまでどうかまとめていただければと思います。

○会長

そろそろお時間となりましたけれど、もう皆様よろしいでしょうか。

決まったところまででも大丈夫ですので、各グループから報告をお願いしたいと思います。

本日はBグループの方からお願いします。

○佐藤純也委員

それでは、はなび・アムの利用促進とPR、あと周辺地域の盛り上げということで、ちょっと踏み込んだ話をしましたけれども、まずは利用者アンケートというところで、はなび・アムの市民に向けての意識調査を市役所でされたようですが、実際利用者に対するアンケートがまだデータが取れていないということで、やはりアンケートを取る必要があると思います。例えば利用した方は市内の人なのか、あるいは県内の人なのか、県外の人なのか、利用目的は、何の観光で来たのか、あるいはセミナーなど目的も一応データとして取っておいてから、今後どうすればいいかという対策も見えてくるのかなと思います。はなび・アムの受付に利用者向けのアンケートを置くということと、駅のグランポールとか、ちょっと間口を広げてアンケートを置かせていただくかというようなお話になりまして、来年4月に春の章と新作花火コレクションをやる予定だということで、それに照準を合わせてアンケートを作成して、アンケートをやってみたらいいんじゃないかという話になりました。

それと花火玉カーリングというゲームですけれども、実際何度か試験的にやってはいるということで、はなび・アム内部にゲームができるスペースを常設しておくということと、地域おこし協力隊の皆さんにもお声掛けをして、今後例えばイベント等だけでなく、協力隊の活動とリンクさせた形でこれを盛り上げてですね、お子さんに向

けたものなんですけれども、親子を巻き込んで盛り上げていったらどうかという意見がありました。

それからグッツですね、今後どういったものを作っていくのかということが一つとそれをどうやって売るかという話なんですけれども、はなび・アムの横の店舗は期間限定だということで、はなび・アムに行ってもそれが買えないということになるようですので、自販機を置いてはどうかというアイデアが出ました。

これはコスト面でどうなのかということと、果たして実現可能なのかということもありますので、一旦まず開発するものをどういったものを作って、ターゲットを誰にしてどこで売るのか。

周辺の商店街のご協力をいただいて、そこで売っていただくのが一番手っ取り早いということになって、その後自販機ということも今後考えていければなという形にまとまりました。

それからですね、大曲の偉人を学んでいただく場所にしようというアイデアが前回出ました。人物の選定につきましては、政治家ということもあって、なかなか利用者の方にはいろんな立場の中、政治的、思想背景のある方がいらっしゃいますので、選定に関しては慎重になった方がいいというご意見でした。

例えば、その歴史、大まかな歴史を学んでいただく上で史談会の方にご協力を仰いで学ぶ機会を作っていければと。このお話はあとで小学校の話にもちょっと絡んでくるんですけども、一旦地域案内人ということのお話にいきますけれども、これに関しては、新規でまた誰かにお願いするということよりも実際おもてなしマイスターという方々がいらっしゃいますので、その方々にご協力いただいて、この大曲地域の案内をしていただくような取り組みはできないかという話です。

それでこの小学校の児童に向けての教育と啓蒙という部分に関しては、学校で小さい地域の歴史っていうのは大まかに4年生、5年生ぐらいで学ぶんですけども、この花火の歴史ということに特化して、はなび・アムを活用してできないかというような話になりました。

このやはり偉人という部分でも政治家だけでなく、大曲の花火はそもそも、誰がこうを作って、誰がこう発展させてきたのかということが、はなび・アムにいけば学べるようになっていきますので、そういった部分も小学校の授業と絡めてやっていければいいんじゃないかという話です。

このチャレンジショップに関しましては、駅からはなび・アムまでの動線の中で、空き店舗を活用して、若いチャレンジ精神のある起業家の方々に応募していただきたい。そのためには空き店舗が今どのぐらいあのエリアにあって、その中で使えるものはどのぐらいあるのかという、まず情報を掴んでそれを集約しておく。こうして応募があった時にはこういうリストがありますので、いかがですかというような提案ができる、そういったスキームをまず作ってみてはどうかということになっております。

イベント的な部分では今やられてるナイトマーケットなどを参考にして、月に1回でも、週末にでも照準を合わせてやってみたらどうかというご意見もありました。

あとお金の話ですが、出店料の補助であるとか、出店費用や家賃補助、そういった部分も予算的な話になりますので、フォローを入れていければいいのではないかと思います。はなび・アムに関してはこういうお話になりました。以上です。

○会長

ただいまBグループから報告していただきましたが、Aグループからご意見、ご質問等がありましたらお願いします。生田目委員。

○生田目マキ子委員

なんかすごく楽しくなりそうな内容で、絶対に受けると思います。

○会長

はい、ありがとうございます。では佐々木委員。

○佐々木浩委員

素晴らしい内容の説明だったと思います。市街地と旧市街地を分けるわけじゃないんですけども、私西根に住んでいるんですけども、毎日のようにこの花火が上がっていて、見る気であれば毎日見られる、これは素晴らしいことです。ちょっと質問といっても質問できないけども、やはり、大仙市もどこへ行っても大曲の花火と言われるので、これをもっともっと皆さんに周知して取り組み体制をさらに進めてもらえればと思います。

○会長

はい、ありがとうございます。

他よろしいでしょうか。

○成田麗子委員

説明を聞いて、こうであれば皆さん楽しそうにやっていけるだろうと思いました。

小学校には社会見学ありますよね。それには必ずこのコースを入れてくださるということで教育委員会にお願いします。そして大きくなっても、自分は大曲出身で、大曲の花火があるところで育ったよって自分のこういう場所があるっていうことを東京など首都圏に行っても話できる、自慢できる、そういう地区にしていきたいなと思います。やっぱり小さい子供のときからこのはなび・アムもあるし、こういう地区であるということ誇りに思っしてほしいなと思います。

○会長

はい、ありがとうございます。

あの、私からも意見があるんですけども、はなび・アムに人を集めるためには本当に魅力的なことがあればどんどん集まると思うんです。現状はなび・アムの一番不足してる部分って、飲食できて座って休むスペースだと思うんですね。なのでこういう取り組みプラス、何か付近の例えばカフェとか、飲食できるお店を紹介する取り組みとか、あともしくは周りで飲食を絡めたものがあれば、もうそこで座って休んでとか、より可能性が広がるんじゃないかと思うのでそういうところもあればいいなと思いました。以上です。B班の方から何かまたご意見とか、今いただいた意見をもって何かコメントとかあれば。

○松塚孝治委員

大曲小学校の場合は、はなび・アムに来る授業はあると思うんですけども、大曲地区以外の小学校は来る機会はあるのかわかるでしょうか。（わからないの声あり）

例えば、大川西根小学校であればパイプオルガン主体の事業があると思うし、藤木小学校であれば、川の流れの事業があると思うんですけども、他地区からはなび・アムに来る事業ってあるのかなと思って。それちょっと今気になったもんですから。

○生田目マキ子委員

内小友小学校は、小松煙火に訪問し、見学と花火玉づくりをしているようです。

○根田朋子委員

大曲小学校は、ちょうどうちの息子が4年生で、今年この案が出たときはまだ授業でやってなかったんですけど、もう夏ぐらい、ちょうどあの聖火ランナーが走ったときが、はなび・アムの見学の日だったんですよ。グループ分けして、順番に行ったはずなので選択じゃなかったと思うんですよ。地域の授業みたいな感じで学年集会に

響屋の方が来てくれて、話してくれたと言っていたので、花火の授業の一環として、確か行っていたと思います。

○会長

ありがとうございます。

Bグループの発表について、他に何かありますでしょうか。なければ、終了したいと思います。続きましてAグループから発表の方お願いいたします。

○佐々木浩委員

Aグループの発表者の佐々木といいます。

Bグループの発表があまり素晴らしくて、Aグループがどのような発表になるかは私もちょっと不安ですけれども、地域住民の地域活動への参加というのをテーマになっておりますので、ざっくばらんにお話したいと思います。

まずコミュニティ会議について、地域の皆様がわかってるのかということで、どのような事をやっているのかということ、各地区の代表者あるいは先になってる人に説明して、それをさらにまたその地域の住民の方に説明していただくと、活動内容を把握できるんじゃないかという話がありました。

私も実際地域協議会がどういうものか全くわかりませんでした。この地域協議会に参加して、なるほどなとわかりましたので、そういうことも含めて、話がありました。また、どのようなことで地域の皆さんに参加してもらえるかお話をさせていただきますと、たまたま私西根ですけども、これはちょっとテーマから外れるかもしれませんが、小中学校あるいは保育園では、今年はコロナでできなかったが、毎年1回運動会をやっています。

運動会は、父兄の方はもちろん、お年寄りの方も、自分の孫や子供さんがいると結構参加してくれます。

そして、運動会が終わった後に、全員で地震を想定しての防災訓練を行います。それで体育館に避難して非常食とかを試食すると、結構盛り上がりまして、地区の皆さんが一番集まれる機会になっていると思っていました。

地域の企業では、マイクロテクノと興栄建設と結構大きい企業がありますけれども、従業員の中に地域住民の方もいるので、いろんなことで協力してもらっています。災害が起こった時など、連携を取れる体制があれば役立つんじゃないかと考えていて、活動を継続していきたいと思います。

このほか、角間川、藤木、内小友などは、市街地からちょっと離れていますので、それぞれ取り組み方は違うと思います。これを全部一律同じにするのではなく、各地

域の良さを皆さんで分け合って良い部分を取り入れることで、例えば、はなび・アムの件についてもいろんな意見が出ましたけれども、これを各地区で参考にすることもできると考えています。以上、簡単に説明させていただきました。

○会長

ありがとうございました。

それでは、ただいまの発表につきまして皆様からご意見、ご質問といただきたいと思えます。

それでは、三浦委員お願いします。

○三浦隆吾委員

はい、ありがとうございました。

主に私が聞いた感じだと、防災という印象が強かったです。それについて運動会を活用してやられるということでしたが、非常食の試食をしたり、避難訓練というのは、具体的にどのように行うのでしょうか。

○佐々木浩委員

運動会では、各地区でテントを設営してそこが待機場所になっています。運動会が終了した後、「今地震が発生しました。体育館に避難してください。」と放送して、各1区から5区までに誘導員がおりまして、誘導にあたります。体育館は耐震処置されて安全性があることから、全員が入って、地区ごとにわかれてお母さんたちが作ったカレーなどを試食させます。また、非常食については、防災課の方に連絡すると、補助が出ますので、それを活用します。

○三浦隆吾委員

なるほどありがとうございます。

私は以前長野市に住んでいたんですけども、長野市の方でも結構その防災に関して結構取り組んでる地域がありまして、運動会自体をバケツリレーや模擬の消火活動にあててみるとか、あと防災グッズの点検とか、何かそういう共有事項があったりするとよりリアルな感じで、運動会というキーワードと防災を考えたときに、競技の一つに加えてもらったら、楽しく防災もできていいなっていうイメージができました。

感想としては以上です。ありがとうございます。

○会長

はい、ありがとうございました。

他何かある方いらっしゃいますでしょうか。

はい、須田委員お願いします。

○須田忠夫委員

私、今期から地域協議会に参加させてもらいまして、会についてなんとなくわかっただけで、実際はどういうものかっていうのでわからなかった状態でした。

ただ私花館なんですけども、花館のコミュニティ会議の活動は、ちょっと違っていて、松山公園に植樹をしたり、玉川の鮭について稚魚を放流するところから、今はのぼってくる鮭を収穫すること、これら小学校の学年ごとに役割を決めてやっています。例えば小学校の6年生は来年の春になりますと、稚魚を放流するんです。今は、鮭がのぼってくるんで収穫ってことで、河川敷に簡易のプールを作って、そこで子供たちにつかみ取りをさせるとか、そういう行事をしました。

山の方では桜。昔は松山公園って言ったんですけども、今ほとんどサクラになっていて200本以上あり、今年度は植える場所がなくなっちゃう状況でしたけれども、植樹は何年生、肥料やるのは何年生と小学校と連携して行っています。

あとは川を渡る梵天の時に、42歳と33歳の厄年の人が見物客に振る舞いを行ったりと、子供を一緒に巻き込んだ行事をやってみて、他の地区ではまた全然違うやり方がいっぱいあるんだなと思いました。

○会長

はい、ありがとうございました。他に何かありますでしょうか。

ないようでしたら、両グループ通して、ここまでの協議について何かある方いらっしゃいますでしょうか。

○佐々木浩委員

ちょっとわかる範囲で教えてほしいんですが、花火競技大会に農林大臣賞などいろいろありますけど、国の方からの補助とか何かあるんでしょうか。

○企画部長

賞はもらっています。

確か当時通産大臣表彰だったわけですがけれども、産業振興の面で何かはあったかに記憶してるんですが、ちょっと定かでないです。

その他は、栈敷の収入、それから市からの予算は出ており、運営されております。

○会長

ありがとうございました。

他、何かある方いらっしゃいますでしょうか。

○事務局

B班のときの最後にご質問ありました、はなび・アムへ他地域の小学校から社会科見学できているかという内容について、はなび・アムに確認したところ、大曲地域では、今年度は藤木小学校3年生、西根小3年生あと角間川小2年生、花館小3年生が来たり、来る予定だということでした。

あと大曲地域以外でも、西仙北小と太田の南小、東小、北小、それから中仙、南外なども来てるということでした。だいたい3、4年生というような学年になっています。以上ご報告でした。

○会長

はい、ありがとうございました。B班よろしいでしょうか。

他、何もなければ本日の協議はここまでにさせていただきたいと思います。皆様今日もありがとうございました。

次に次第5の報告1に移りたいと思います。

地域枠予算の令和3年度の活用状況について事務局より説明をお願いいたします。

○事務局(遠藤副主幹)

【資料に基づき説明】

令和3年度の申請状況について概要を報告した。

○会長

ありがとうございます。

ただいま報告いただきました件について、皆様からご意見ご質問等ありますでしょうか。ないようですので、次に移りたいと思います。

次に報告2の彩色千輪プロジェクトについて事務局より説明をお願いします。

○事務局(高山主幹)

【資料に基づき説明】

彩色千輪プロジェクト事業の概要、市長プレゼンの内容について報告した。

○会長

ありがとうございます。

ただいま報告ありましたけれども、この件に関しまして、ご意見やご質問等ある方いらっしゃいますでしょうか。はいよろしいですね。なければ次第後の報告を終了したいと思います。本日の議題については以上であります。

続きまして、次第の6のその他に移ります。皆さんから何かありますでしょうか。

○企画部長

すいません。先ほどきちっとお答えできませんでした、花火大会の財源の件についてお答えいたします。

それぞれの大会では事業収入というのがありまして、観覧席収入、それから駐車場収入、その時々々のスポンサー収入、年間のスポンサー収入、それから場合によっては後からの補助金などで賄われているということでございまして、国や県からの補助金というのは一切入っていないということになっております。

○会長

はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか。

他、何かある方いらっしゃいますでしょうか。

ないようですので、事務局から次回開催についてお願いします。

○事務局(高山主幹)

次回の日程は2月10日木曜日午後6時から大会議室で行う旨連絡。

○会長

ありがとうございます。

次回開催についてありましたけど皆様、よろしいでしょうか。

特に何も無いようでしたら、以上で今日の会議を閉じさせていただきたいと思えます。皆さん長時間にわたりご苦勞様でした。

ありがとうございました。

(午後 7時 50分 閉会)

大曲地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

